

31. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 030410815

病院施設番号： 030410

臨床研修病院の名称： 名古屋大学医学部附属病院

臨床研修病院群番号：

臨床研修病院群名：

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	名古屋大学医学部附属病院初期臨床研修周産期プログラム
2. 研修プログラムの特色	<p>将来小児科医、産婦人科医になることを希望する研修医を対象とした研修プログラムで、希望に応じて小児科重点コース、産婦人科重点コース、小児科重点たすきがけコース、産婦人科重点たすきがけコースの4つのコースから選択できる。</p> <p>①小児科重点コース：一年次から16週間の小児科研修を導入し、二年次においても8週間小児科研修を行う。一年次16週間のうち4週間及び二年次の小児科研修は希望すれば市中病院で行うことも可能である。</p> <p>②産婦人科重点コース：一年次から16週間の産婦人科研修を導入し、二年次においても8週間産婦人科研修を行う。二年次の産婦人科研修は希望すれば市中病院で行うことも可能である。</p> <p>③小児科重点たすきがけコース：一年次は小児科重点コースと同様の研修を行い、二年次では、市中病院において8週間の小児科研修および12週間の内科研修を含む研修を32週間行う。</p> <p>④産婦人科重点たすきがけコース：一年次は産婦人科重点コースと同様の研修を行い、二年次では、市中病院において8週間の産婦人科研修および12週間の内科研修を含む研修を32週間行う。</p>
3. 臨床研修の目標の概要	<p>全人的診療ができるようになるために、基本的臨床能力を身につけ、プライマリケアに対応できるという基本的目標に加えて、小児科重点コースにおいては、</p> <p>①患児及びその養育者、特に母親との間に好ましい人間関係を構築する。</p> <p>② 患児の全身を包括的に観察し、年齢特性を理解して診察できる。</p> <p>③ 先天的あるいは遺伝的要因に基づくハンディキャップ児の早期発見や療育の現場に触れ、患児や家族に対して支援を行なえる。などを目標とする。</p> <p>また、産婦人科重点コースにおいては、</p> <p>① 産婦人科医として必要な基本的診察技能を身につける。</p> <p>② 産婦人科医として必要な基本的疾患の病態、診断、治療の知識を身につける。</p> <p>③ 不妊患者の診断と治療能力を身につける。などを目標とする。</p>
4. 研修期間	(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。

5. 臨床研修を行う分野		研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間）			
		<ul style="list-style-type: none"> * 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。 * 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。 * 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。 			
		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
(記入例) x x 科		1234567	〇〇 病院	<u>〇週</u>	<u>〇週</u>
必修科目・分野	内科	030410	名古屋大学医学部附属病院	<u>24週</u>	<u>週</u>
		030363	岐阜県立多治見病院		
		030408	名古屋記念病院		
		030426	春日井市民病院		
	救急部門	030410	名古屋大学医学部附属病院	<u>4週</u>	
	地域医療	032026	みなと医療生活協同組合 みなと診療所	<u>4週</u>	一般外来 <u>2週</u> 在宅診療 <u>1週</u>
		032030	南医療生協 かなめ病院		
		033569	愛知県医療療育総合センター中央病院		
		034718	医療法人 愛生館 小林記念病院		
		034721	亀井内科・呼吸器科		
		030783	岩手県立釜石病院		
		030784	岩手県立宮古病院		
030941		愛知県厚生農業協同組合連合会 知多厚生病院			
032815	愛知県厚生農業協同組合連合会 知多厚生病院附属篠島診療所				
	056305 191230	日間賀島診療所 山本医院 阿木診療所			
外科	030410	名古屋大学医学部附属病院	<u>8週</u>	<u>週</u>	
	040043	国家公務員共済組合連合会東海病院			

病院で 定めた 必修 科目	小児科	030410	名古屋大学医学部附属 病院	4 週	週
		030399	独立行政法人労働者健康安全機 構 中部労災病院		
		030405	名古屋掖济会病院		
		030406	独立行政法人地域医療機能推進 機構 中京病院		
		030408	名古屋記念病院		
		030426	春日井市民病院		
		030432	愛知県厚生農業協同組合連合 会 豊田厚生病院		
	産婦人科	030410	名古屋大学医学部附属 病院	4 週	
	精神科	030410	名古屋大学医学部附属 病院	4 週	
	一般外来	030410	名古屋大学医学部附属 病院	4 週	
病院で 定めた 必修 科目	周産期	030410	名古屋大学医学部附属 病院	8 週	週
		030399	独立行政法人労働者健康安全機 構 中部労災病院		
		030405	名古屋掖济会病院		
		030406	独立行政法人地域医療機能推進 機構 中京病院		
		030408	名古屋記念病院		
030426		春日井市民病院			
030432		愛知県厚生農業協同組合連合 会 豊田厚生病院			
麻酔科	030410	名古屋大学医学部附属 病院	12 週	週	
			週		
			週		

選択 科目	その他	030410	名古屋大学医学部附属 病院	28 週
		030363	岐阜県立多治見病院	
		030831	社会医療法人宏潤会 大 同病院	
		030387	中東遠総合医療センタ ー	
		030399	独立行政法人労働者健康安全機 構 中部労災病院	
		030402	日本赤十字社愛知医療セ ンター名古屋第二病院	
		030405	名古屋掖済会病院	
		030406	独立行政法人地域医療機能推進 機構 中京病院	
		030408	名古屋記念病院	
		030426	春日井市民病院	
		030432	愛知県厚生農業協同組合連合 会豊田厚生病院	
		033569	愛知県医療療育総合セ ンター中央病院	
		040043	国家公務員共済組合連 合会東海病院	
		076918	だいどうクリニック	
		032051	愛知県赤十字血液セン ター	
		034717	財団法人愛知健康増進 財団	
				週

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 86 週 ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。
臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 12 週 ※原則として、12 週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。
研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修を並行研修で行う場合、
残りの週数としてみならず休日・夜間の当直回数 約 80 回
救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・4 週※但し、4 週を上限とする
一般外来の研修を行う診療科・・・総合診療科、地域医療研修
※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること

- ・たすきがけコースは、2 年次において 32 週間協力型臨床研修病院（小児科重点：名古屋記念病院または春日井市民病院、産婦人科重点：春日井市民病院または岐阜県立多治見病院）で研修を行う。また、32 週間のうち 8 週間の周産期研修及び 12 週間の内科研修を必修とする。
- ・小児科重点コースについては、選択科目 28 週間のうち 12 週間は小児科研修を必修とする。
- ・産婦人科重点コースについては、選択科目 28 週間のうち 12 週間は産婦人科研修を必修とする。
- ・救急医療研修については、4 週間の救急科・集中治療部研修及び 2 年間を通して週 1 回程度の救急外来研修を実施する。
- ・臨床病理検討会（CPC）を開催している病院：名古屋大学医学部附属病院
- ・小児科研修については、1 年次に協力病院で行うことも可能である。ただし、1 年次に協力病院で小児科研修を行う場合は、麻酔科研修（12 週間）を事前に修了していることとする。
- ・上記必修研修期間以外は研修医の希望に応じた分野で研修を行う。また、選択可能な分野は次の通り。
総合診療科、老年内科、血液内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、神経内科、消化器外科（消化器外科 1 を選択した場合は東海病院も選択可）、血管外科、移植外科、乳腺・内分泌外科、麻酔科、小児科（中部労災病院、名古屋掖済会病院、中京病院、名古屋記念病院、春日井市民病院、豊田厚生病院も選択可）、救急科・集中治療部（名古屋第二赤十字病院、名古屋掖済会病院、中東遠総合医療センター、大同病院も選択可）、産科婦人科（名古屋掖済会病院、中部労災病院、春日井市民病院、岐阜県立多治見病院も選択可）、精神科、整形外科（東海病院も選択可）、眼科、皮膚科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、放射線科、脳神経外科、心臓外科、呼吸器外科、形成外科、小児外科、リハビリテーション科、病理部・検査部・輸血部、化学療法部、中央感染制御部、医療の質・安全管理部、卒後臨床研修・キャリア形成支援センター
- ・保健・医療行政研修（愛知県赤十字血液センター：032051、愛知健康増進財団：034717）は 2 年間を通して月 1 回程度行う。
- ・必要に応じて、県や国が求める公的な公衆衛生事業に協力する。
- ・初期研修に引き続き、後期研修を行うことは可能である。

